

市議会だより

第 39 号

平成 25 年 (2013) 11 月 15 日発行

発行・飯山市議会

編集：市議会だより
編集委員会

〒 389-2292
長野県飯山市大字飯山 1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005

インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iijama.nagano.jp/gikai/>
E-mail: gikai@city.iijama.nagano.jp

9月定例会概要

平成25年9月定例会は、9月3日から26日までの19日間の会期で行われました。

今定例会では、平成24年度一般会計・各特別会計・事業会計歳入歳出決算議案12件、平成25年度一般会計補正予算（総額2億2108万6000円の増額）、特別会計・事業会計補正予算（1億3135万2000円の増額）の各予算案14件、条例改正案4件、事件案11件、人事案1件の合計42議案が市長から提出されました。

9月10日から12日にかけては一般質問に12名の議員が登壇し、13日、17日、18日、19日、26日には予算決算常任委員会で、20日には総務文教・産業民生常任委員会、それぞれ付託された議案について

審査しました。

最終日26日には、教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて同意議決し、その他提出された議案についても、すべて原案のとおり認定・可決されました。また、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについては適任と認めました。

議員提案の「飯山市議会の議員の議員報酬の臨時特例に関する条例」については、賛成少数で否決されました。

請願3件については、1件を採択、1件を不採択、1件を継続審査としました。

議員提案の意見書2件については全員一致で可決しました。

委員会審査

9月13日、17日、20日、26日には、各常任委員会において審査が行われました。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会に付託された議案は、平成24年度飯山市一般会計歳入歳出決算、特別会計決算案の12件、平成25年度一般会計補正予算、特別会計補正予算案の14件の計26議案でした。

審査結果は、賛成多数または全員一致で原案のとおり認定または可決すべきものと決しました。

なお、委員会審査の中で以下の意見が出されました。

○商工観光課の「土産品開発支援事業」について、応募の審査を慎重に行い良い土産品に繋がるような支援事業にしてほしい。

○ケーブルテレビ特別会計決算では、民間の感覚で経営をしつつあり行い、加入促進を図るべき。

○企画財政課の「ふるさと寄付金推進事業」について、特典の充実に検討の余地がある。

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会に付託された議案は、「特別職の職員等で常勤の者の給料の臨時特例に関する条例」、「一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例」、「飯山市税条例の一部を改正する条例」の条例案3件、「辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更にについて」、「過疎地域自立促進計画の変更にについて」の事件案2件の計5議案でした。

審査結果は、「特別職の職員等で常勤の者の給料の臨時特例に関する

る条例」、「一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例」の2議案については賛成多数で、その他の3議案については全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

請願第4号「憲法第96条の発議要件緩和に反対する請願」については、さらに審査を要するため、継続審査すべきものと決しました。

請願第5号『義務教育費国庫負担制度』の堅持を求める請願については、全員一致で採択すべきものと決しました。

請願第6号「国に対し『消費税増税中止を求める意見書』の提出を求める請願」については、消費税増税においてはその実施時期も含め、十分な議論と慎重な対応が必要であるとの意見もありましたが、採決の結果、賛成少数で不採択と決しました。

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会に付託された議案は、「飯山市定住促進センター条例を廃止する条例」の条例

一般質問

9月10日、11日、12日には、12名の議員から市政に対する一般質問が行われました。

※以下、内容は要約して掲載させていただきます。

男女共同参画の

実践を評価

【質問】男性保健師の採用は県内でも先進的事例であり、積極的な実践を評価したい。

【答弁】現在、保健師資格を持つ職員が9名いるが、本年度、男性保健師1名を採用した。保健福祉課で女性保健師同様に健康増進業務に従事している。男性の視点も加わることによってより効果的な特定健診業務等が進められている。

【質問】他専門職の採用実態は。

【答弁】保育園では男性の嘱託保育士を1名雇用している。土木職では女性技師を本年度1名採用している。

【質問】女性の救急救命士が増えている中、女性消防士の採用計画はどうか。

【答弁】現在、新消防庁舎の建設（岳北広域）を進めているが、女性消防士も想定しながら施設面ではすぐ対応できる状況にある。

◇英語教育の充実と英語圏との交流について

【質問】外国語教育をどのように進めているか。

【答弁】中学校に各1名の外国語



高山恒夫議員

指導助手（ALT）を配置、小学校へは5・6年生の英語活動に2名のALTを配置している。子ども達には早い段階で外国語に触れる環境が必要だ。語学は文法より楽しめる会話から学ぶことが大事と考える。

【質問】英語教育の充実へさらなる具体策は。

【答弁】英語圏との交流を深め応援をいただけるような関係をつくりたい。相手先はオーストラリアを想定している。これからの子ども達へより学ぶ環境を整えたい。



小学校で楽しい英語活動

広域観光と 住み良い地域づくりを!!



渡邊吉晴議員

◇防災関係について

【質問】かつては農業用水の溜め池だった上倉地区の矢落ヶ池の埋め立てにより、上倉および松倉等の火災時の水利はどう考えているか。

【答弁】水路を堰き止めると防火用水として使えるよう考えている。

【質問】南町の防災道路として造られた水路への水利は、矢落ヶ池の樋の口を抜くと防災道路の水路へ流れるようになっていたが、矢落ヶ池の埋め立てにより、この水利はどのように考えているか。

【答弁】今までどおり、矢落ヶ池の



矢落ヶ池の埋め立て

公園、立川およびヌカリ沢を流れる川の水をまわす。

【質問】信越9市町村でこの春立ち上げた信越自然郷による広域観光の、その後の取り組みはどうか。

【答弁】広域エリアを高めるために全国に向けてPRしてきた。また、信越自然郷を知ってもらうため、一目でわかるブランドブックを作成中。なお、飯山駅から広域市町村への交通網の取り組みも検討中。

◇信越トレイルについて

【質問】現在は維持管理を信越トレイルクラブでやっているが、信越9市町村でPRを兼ねた運営管理を考えると考えるがどうか。

【答弁】信越自然郷だけでなく、上越市および津南町等とも話し合いながら現在も進めている。

【質問】外国人が安心して来てもらえる観光地を考え、外国語対応可能な場所を北信広域でつくるべき。特に緊急時の対応を心配するが。

【答弁】中野市の北信州能力開発センターで英語教育も含め人材育成をしたいと考えている。緊急時の外国人対応についても検討したい。

安心・安全な故郷を



西條豊致議員

【質問】信濃川水系河川整備計画は国管理区間の計画だが、湯滝橋より下流の県管理区間の計画はどうなっているのか。県管理区間の直轄編入についての要望の成果は。

【答弁】整備計画は河川管理者が行うもので、県管理区間は県が国管理区間の計画と連携を図り進める。まだ県から具体的計画が提示されていない。これから策定を進めていく。直轄編入については、以前より若干前向きな感が出てきた。引き続き強く要望をしていきたい。

【質問】千曲川の中州の除去計画・



広大化する千曲川の中洲

東小沼地籍の雑木の伐採の進捗状況・樽川の浚渫と桜堤の延長・水防団への支援はどうなっているか。

【答弁】中州除去は今年度着手を目指し工事は複数年かかる。東小沼の雑木伐採は今年中に実施する。樽川橋上流の桜堤は犬走りを利用することになるが県と具体的に検討する。樽川の浚渫土砂は堤防に利用できるか個別に検討する。水防団のヘルメットは自主防災組織と位置付け、要望があれば7割補助で実施する。

【質問】新中央橋歩道と坂路の消雪と403号の改良計画の予定は。

【答弁】歩道は県と協議し、坂路は現道と同様に散水除雪で検討しており、残地は関係する皆様と利用計画を検討する。403号は新幹線駅との重要アクセス道であり、県の都市計画道路に認定するため概略ルートの検討を早急に進めたい。

【質問】飯山堆肥センターについて

【答弁】新公害防止協定についてセンターと進めているが合意になっていない。旧協定で県と立入検査等しており、早期の協定の締結を図りたい。

農業問題について



水野晴光議員

◇新規就農支援事業について

【質問】現在までの人・農地プランの状況、青年就農給付金受給者、農業法人等への支援状況を伺いたい。

【答弁】地域農業担い手暫定プランは、地区設定、市の地域農業再生マスタープランまでは行っていない。今後未設定地区も含め、地域活性化策をふまえ、まとめる。新規就農者は24年度1名、25年度2組、農業法人雇用は3事業体4名。

【質問】飯山市農業後継者総合支援事業を開始したが利用状況は。

【答弁】岡山地区で1名。

【質問】利用状況が少ないが、この事業を利用する時は資金貸付等の特別認定、就農計画の作成、県農業研修本課2年受講または農業生産法人で2年研修、県経営者協会会員、市認定農業者となることとなっている。また、実績報告書を年2回、交付期間中の3年間と終了後2年間の5年間、合計10回提出となっている。簡素化できないか。

【答弁】税金を投入するので農業経営が成り立たなければならぬ。当初の目的に合った実効性のある



中央橋付近の堤外地

制度に検討していきたい。

◇医師招聘推進事業について

【質問】日赤の医師確保に向けてこの事業を取り入れたが現状は。

【答弁】23年度1名、24年度1名に研究費を貸与し効果が見込めた。奨学金貸与は現在利用者なし。

◇国道117号沿いの景観について

【質問】フラワーロードは通行人に大変好評だが堤外地は雑木・雑草で千曲川さえよく見えない。対応は。

【答弁】雑木の除去を本年度右岸で進めてもらっている。河川事務所と相談していく。

義務教育最後の仕上げ、 給食費無料化を考える



佐藤正夫議員

◇災害復旧費の負担は誰が

【質問】農地の荒廃が進み思わぬところで災害が起きる。複合的原因がある時の市と関係者の負担割合は。工事前の確認が重要だ。水路の管理はどこが担当なのか。

【答弁】関係者と復旧前によく打ち合わせて負担を了解してもらい進める。負担割合は今後ケースバイケースもありうる。田畑関係は農林課、他は道路河川課と連絡を。

◇防災無線の有効利用を

【質問】消防団員が勤務する事業所や消防協力事業所への防災無線機は無料で貸すべきだ。無線のデジタル化の予定と外部拡声器は。

【答弁】無料化は既設と整合性がとれない。デジタル化は29年度着手したい。拡声機も検討する。

◇さわやか婚活に強力な後押しを

【質問】取り組みの成果は。追跡調査はしたか。結婚をしたら報告いただいて祝金等を考えてほしい。

【答弁】8回開催、カップル誕生41組。アンケートの回答は2割弱で追跡調査は難しい。お祝いは婚活でない結婚も含めよく検討したい。



楽しい学校給食を

【質問】新高校の敷地になる給食センターの移転スケジュールと小学校のセンター化は。義務教育、公費負担で最後に残った給食費無料化を当市でも考えられないか。全国では少数だが順に進んでいる。

【答弁】28年2学期から新センターを稼働させたい。位置・設備等は検討委員会ですっかり検討していく。小学校は自校給食を続ける。給食費は食材費のみいただいているが、無料化すると年間約1億円の負担になるので当面無理と考える。

1日も早い 芝生グラウンドを！



水野英夫議員

【答弁】 スポーツには力を入れていきたい。組織についても今後検討していきたい。

【質問】 市内の唯一の地元資本のスキー場が民事再生を申請したが、市の対応は。

【答弁】 市としてもスキー場は是非存続してほしい。経営力のある民間企業に経営を任せてほしい。その過程の中で市も支援をしていきたい。

【質問】 観光局の事業展開はもつと地場産業の農業とからめた商品開発が必要ではないか。費用対効果がでるような企画が必要では。

【答弁】 検討していきたい。

【質問】 青少年の健全育成や地域振興とあわせ芝生のグラウンドが必要に思うがその計画はどうか。

【答弁】 調査検討をしたが、多額の費用もかかるため今後の検討課題としている。

【質問】 石川県七尾市では5年ほど前からサッカーに取り組み、現在芝生のコート5面で年間10万人の利用、6億円のお金が地元に着ているとのこと。飯山市も体育施設は全て教育委員会に任せるのではなく、観光係の組織の見直しを含め、他の方法も考えてはどうか。



人工芝グラウンド

(石川県七尾市)



大原グラウンド

(温井)

【質問】 各小学校区ごとの懇談会を開催しているが、子供の数が減っている中で、チームプレーや集団行動の勉強や訓練はどのように考えるか。

【答弁】 学校区や学年にとらわれず全市的に考えたい。

国民健康保険と 予防施策について



渡辺美智子議員

【質問】 今年度からの国保税値上げに対する意見が市民から上がっていると思うが、どんな意見・声があったか。

【答弁】 8月末までに40件の問い合わせがあった。うち20件は「高くなつた。」「来年からも上がるのか。」「何とかならないか。」「という問い合わせ。1件1件個別に対応した。

◇特定健診の受診率について

【質問】 国は平成29年度までに受診率および保健指導率を60％にと提言している。飯山市の受診率は29・7％から50％に、また保健指導については14・6％から30％にとの目標設定になつている。この根拠は。

【答弁】 実際に達成できる目標に設定した。何とか達成していきたい。

【質問】 特定健診受診率を上げるためどのように取り組むのか。地区の保健指導員にその任務に当たっていたなどとも考えてみてはどうか。

【答弁】 他市の取り組みを参考に、して具体的にどうするか検討する。

市民が主役・市民参加の 健康増進計画を



小林初子議員

ついで市はどう考えるか。

【答弁】 参考にするが自らの健康は自分で守る事が基本である。

【質問】 改正災害対策基本法の成立を受け、障がい者・高齢者等災害時要援護者の名簿作成を市町村に義務づけた。今後の取り組みは。

【答弁】 防災計画修正の手續きの中で作成していく。地図情報のシステムを活用してマップの中でも使えるようにしていきたい。

【質問】 災害時、当市では通常の避難所で生活することが難しい高齢者・障がい者等を受け入れる福祉避難所はまだ指定されていないが、早急に指定すべきではないか。

【答弁】 現避難所との調整をしながら検討していきたい。

◇障がい者雇用について

【質問】 民間事業所は障がい者の法定雇用率が2・0％、市役所など地方公共団体等は2・3％と義務づけられているが現状はどうか。

【答弁】 民間事業所は昨年度2・21％でクリアしているが、当市役所は1・43％という状況。来年に向けクリアできるよう努めていく。

政治姿勢について



竹井政志議員

【質問】 参院選の結果、憲法改正に前向きな自民、みんな、日本維新の会、「加憲」の公明の4党で憲法改正発議に必要な3分の2に達した。憲法改正の大きな狙いは憲法第9条（戦争の放棄）を変えること、自民党改憲案を見ると地方政治の破壊につながりかねない内容。市長の見解は。

【答弁】 今の憲法第9条、地方自治の確立は戦後日本のあり方の一番大事な根本。国民の広い意見を聞く中で論議されるもの。地方自治は市民生活を守る根幹。

◇防災について

【質問】 地域防災計画の要綱では災害の要因を風水害、火災、雪害、地震としているが、放射性物質が放出される事故を想定した原子力災害に備えた防災計画がない。市民から不安の声もあるがどのように検討しているのか。

【答弁】 原発災害対応について国でようやく対策の見通し。国・県・市町村でこれから具体的に検討する段階。

◇教育行政について



子どもたちが健やかに育つ環境整備を

古牧橋の 架け替えについて



渋川芳三議員

【質問】 期成同盟会の立ち上げのための協議を中野市と始めてほしい。

【答弁】 事務レベルでは、協議を進めている。

【質問】 いつ頃までに期成同盟会を立ち上げる考えか。

【答弁】 市としては、平成26年度中に同盟会を立ち上げたい。



架け替えを待つ古牧橋

【答弁】 飯山高校への城南中の移転は平成28年2学期から。中学校で使うための改修は一部を除き28年3月の飯山高校の卒業式の終了後、旧二中にある給食センターは、平成28年8月までは飯山市で使用する。関係者に対する移転に関する説明は、11月以降に順次行う。

【質問】 完全統合が完了するまでは、高校側にもいろいろと不便が生じる。その際には出来る限りの協力をしてほしい。

【答弁】 現在も最大限の協力を行っている。新飯山高校の教育に差し障りのないように協力する。

◇新駅設置について

【質問】 飯山線新駅基礎調査委託の結果はどうであったのか。

【答弁】 新駅からの乗降客数の把握のための調査を委託した。静間バイパス付近で新たに新駅を設置する人が増えないと新駅の設置は難しい。現時点ではすぐに設置ということではなく、新幹線開業後の人口の動態等を見て判断することが適切と考えている。

◇城南中学校等の移転事業について

【質問】 昨年12月以来、何が決まり、何が協議継続中か。

新幹線開通後に向けた 取り組みについて



山崎一郎議員

【質問】 新幹線飯山駅開業までの残された1年半は、地域の将来を方向づける重要な期間だ。開通後に向けたまちづくりの取り組みは。

【答弁】 新幹線の開通により他の地域から飯山が近くなり、国内のみでなく海外もターゲットにマーケットを広げていくような構造転換が必要。飯山に行ってみて、住んでみたいと思ってもらえるようなブランドづくりに取り組む。

【質問】 新幹線が開通すると、なんとなく地域がよくなるという思いがある。行政と市民が一体になった盛り上げが重要に思うが。

【答弁】 大変重要なことと思っている。そのためには各集落ごとでの取り組みの計画、もう一つは農業とか商業の仲間やお母さん方のグループとか、いろいろ仲間でこんなことをやってみたいとか取り組みたいという自主的な話し合いが大切で、市ではこれを積極的に応援したいと考えている。

◇(仮称)飯山ぶらざの建設について

【質問】 総額32億円もの建設費用



(仮称) 飯山ぶらざ 外観イメージ図

の財源内訳と、維持管理費と管理運営計画を示してほしい。

【答弁】 財源は、国からの交付金が8億円、過疎債(交付税対応)15億2000万、地元負担は基金の取り崩しを含め8億6000万円、維持管理費と利用計画については今庁内で検討している。

【質問】 完成してから利用方法を考えるのでは遅い。今から計画を立てるべきと思うが。

【答弁】 市民だけでなく外の方々にも利用してもらえるように、完成までに関係者で計画していく。

市政運営について



石田克男議員

◇戸狩温泉スキー場への支援について

【質問】 戸狩温泉スキー場が民事再生法を申請した。市として支援はできないのか。

【答弁】 戸狩温泉スキー場はなんとか存続してほしい。今までも支援はしてきたが、これからもどのような支援が必要か検討する。

◇農業用水について

【質問】 千曲川の水位が低く、長峰揚水機場で揚水ができない時がある。対策は。

【答弁】 地方事務所の力を借りながら、調査・研究を始めた。

◇定住自立圏構想の進捗状況について

【質問】 定住自立圏構想の進捗状況は。

【答弁】 交通、医療、(仮)飯山ぶらざの使用等についても進めていく。

◇グライダー滑走路について

【質問】 戸狩工業団地の滑走路は、雨が降ると軟弱になりグライダーが飛び立てない。なんとかならないか。

【答弁】 道路の工事で出た碎石等を入れたいと思っている。



とがり夏まつり

人事案

◇議案第116号

教育委員会委員の任命に関する同意を求めることについて

田中 妙子 氏

《同意議決》

諮問

◇諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

関 保典 氏

《適任と認める》

請願審査

◇請願第4号

憲法第96条の発議要件緩和に反対する請願

請願者 《継続》

飯水岳北9条の会
常田 泉

意見書

◇意見書第3号

地方税財源の充実確保を求める意見書

《左記のとおり原案可決》

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。こうした中、基礎自治体であ

◇請願第5号

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願

《採 択》

請願者
飯山市教職員組合

執行委員長 大口 義人

◇請願第6号

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

《不採 択》

請願者

新日本婦人の会飯山支部

常田 綾子

る市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について

(1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。

(2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。

(3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引上げにより対応すること。

(4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。

(5) 地方公務員給与の引き下げを前提として、平成25年度の地方交付税が削減されたが、地方の固有財源である地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは、避けること。

2. 地方税源の充実確保等について

(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分「5対5」とすること。

その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。

(2) 個人住民税はその充実確保を図るとともに、「地域社会の会費」という基本的な性格を踏まえ、政策的な税額控除を導入しないこと。

(3) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。

特に、償却資産の根幹をなしている「機械及び装置」に対する課税等については、現行制度を堅持すること。

(4) 法人住民税は、均等割の税率を引き上げること。

(5) 自動車重量税および自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。

(6) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとつて貴重な税源となつていことから、現行制度を堅持すること。

(7) 地球温暖化対策において地方自治体が果たしている役割を踏まえ、地球温暖化対策譲与税を新たに創設するなど、地方税財源を確保する仕組みを構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

◇意見書第4号

「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書

《左記のとおり原案可決》

義務教育費国庫負担制度は、国が必要な経費を負担することにより、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を図るための制度として、これまで大きな役割を果たしてきたところです。しかし、平成18年度から義務

視 察 報 告

議会運営委員会

委員長 望月 弘幸
平成25年8月21日～22日
石川県小松市・富山県魚津市

○議会運営・議会改革について
○新幹線開業に向けての観光推進と広域的連携について

北陸新幹線の開業を控え、各駅周辺整備の状況の視察と沿線自治体のうち災害時相互応援協定や観光交流都市協定を結んでいる市を訪れ、情報交換を行い友好関係の更なる推進を図ることを期して視察研修を行った。あわせて、議会運営の状況や議会改革検討委員会の検討内容を教示いただき、聞き取り調査および意見交換を行った。

魚津市では、平成26年度末の北陸新幹線開業を控え、新幹線を利用して魚津を訪れる方の増加を図り、交流人口の拡大のため、特性を生かした事業を実施することを基本的な考え方として事業推進を図っている。



北陸新幹線新高岡駅を視察

魚津の魅力発信のイメージとしては、「伝統・文化」「自然の恵み（新鮮な魚介類、豊富な農作物）」「飲食店街・宿泊施設」の3つの要素が相互に補完し合いながら観光振興に繋がることが重要と考え、とりわけ、宿泊施設が8件ほどありビジネスホテルから温泉旅館まで多様な宿泊ニーズに応えられるのも魅力の一つとしている。

平成25年度では、「食泊連携事業」ということで駅前の飲食店街が連携しての事業『うおづBAR（バル）街』に取り組んでいる。また、食と地域の交流促進事業として体験型プラン『ぎょぎょと新鮮！山・里・海まるごと体験プラン』と宿泊をセッ

トしたプランを売り出している。

広域観光圏の取り組みとしては、新幹線駅ができる黒部市を含む3市2町の広域観光圏を形成しており、それぞれの特色や立場の違いから難しい面もあるが、各々の特色を生かした観光ルートの作成に取り組んでいる。

観光という面では飯山市とはライバルであるとともに日本全国や世界に向かっては北陸新幹線沿線が一つのエリアであるという連携の必要性もあり今後の交流推進が確認された。

なお、漁業従事者の状況については、後継者不足・高齢化が悩みだったが、全国にインターネットで募集したところ、若手の方がここ2～3年数人ずつ来ていて後継者不足が改善してきているという興味深い話も聞かれた。

議会運営については、魚津市議会改革検討委員会の検討経過や中間答申の内容について説明いただいた後意見交換を行った。当市と同様の課題があるとともに参考とすべき事項も多くあった。小松市については、深夜からの豪雨で災害対策本部を立ち上げたとのことから訪問を中止した。（大きな災害とならなかったという報告を受け安心した。）

編集後記

9月議会は3日間の予算決算常任委員会において、全議員により24年度決算案12件、補正予算案14件が活発な質疑の結果、すべて原案どおり認定・可決されました。条例案、事件案はそれぞれの常任委員会に分割付託され、それぞれ原案どおり可決されました。

今、当市では新幹線駅、中央橋および消防署工事と新しい飯山市の姿が見えてきております。また、今秋の台風は各地に大被害を出しましたが、当飯山市では大した被害は発生しませんでした。平成25年も残すところ2ヶ月となりましたが、無事に新しい年を迎えたいものです。

市民の皆様には、各委員会・本会議の積極的な傍聴をお願い致します。（西條 豊致）

議会だより編集委員会

委員長 望月 弘幸
副委員長 高山 恒夫
委員 水野 晴光
西條 豊致
水野 英夫
小林喜美治
久保田幸治